

川東の里だより

No.106

2020
1





年頭にあたつて

社会福祉法人 川東の里

理事長 松尾東司

新年明けましておめでとうございます。皆様には、令和二年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は「川東の里」の事業推進に当たり、関係機関をはじめ多くの市民の皆様より温かなご理解とご支援をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、平成から令和へと大きく時が移り皇位継承の行事が続く中で、ラグビーのワールドカップが日本で開催されて「ワーン・チーム」の熱い戦いに、たくさんの勇気や元気をもらえた一年でもありました。一方、地球の温暖化を要因とする地球規模の自然災害が多発し、日本においても大型台風十五号・十九号などによる強風や河川氾濫の被害が相次ぎ、被災された皆様方には心からお見舞い申し上げます。

『私たちは地球危機の真っただ中にあります』と地球温暖化対策を訴えるスウェーデンの環境活動家十六歳の少女ガレタ・トゥンベリさんの言葉は、大洪水の被災地の映像と重なり実感を伴つて伝わって来るものでした。

そのような中、吉野彰さんが開発した『リチウムイオン電池』がノーベル化学賞に輝き、再生可能エネルギーとしての活用が期待されていることは大変うれしいニュースでした。

社会福祉法が改正されて三年が経過しましたが、当法人におきましてその趣旨

に添つて経営基盤の整備に努めるとともに、働き方改革や受動喫煙の防止、十月からの消費税が10%となつたことへの対応や法人所有の全車両へのドライブレコーダー設置など、社会の変化や今日的課題への適切な対応を進めてきたところです。

昨年七月には、川東の里「納涼会」が開催され、四十回の節目をもつて活動の区切りを迎えました。長年にわたり施設整備を通して川東の里の事業の基礎を支えていたいた功績は大変大きく、父母会を中心とした実行委員会の皆様やご支援をいただいた市民の皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

法人の長年の念願であった利用者の方々の高齢化や重度化に対応する「日中サビス支援型グループホーム」の新設が決定し、令和二年度着工・完成の予定で準備が進められております。また、北見地域の障がいの方々の総合相談窓口「基幹相談センター」が併設されることとなり、地域ニーズへの対応が期待されております。今年の夏には、平和の祭典「東京オリンピック・パラリンピック」も開催されますが、明るい話題に溢れ、災害の無い希望の一年であつて欲しいと願っております。

本年も、利用者の皆様が元気に働き、楽しく安全に生活できる福祉施設の運営に一層努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 川東の里

役員執行体制

施設長・管理者 島田英夫

理 事 長 松尾東司
副 理 事 長 水口馨
常 务 理 事 島田英夫
理 事 村本慧乃

監 事 小池唯夫
栗田博行
皆川和雄
小山穂積
相場雄幸

評議員会会長
評議員
栗田博行
伊藤俊文
杉山茂樹
神田薰
中川勝彦
引地勝三
竹ヶ原洋子
洋子

川東学園支援課
課長工藤嗣巳

きたみ学園支援課
課長橋爪美和子
友樂里・風樂里支援課
課長橋本厚子

川東学園支援課
課長橋爪美和子

フレンズ・豆ちゃん支援課
課長菅野理恵
むぎわら・すたーと支援課
課長上坂和人

地域生活支援センターあさひ45
所長柴山小百合

第三者委員会 委員長 大橋美恵 委員白石伸通 菅久男	中川勝彦 伊藤俊文 神田薰 杉山茂樹 引地勝三 竹ヶ原洋子	川東学園支援課 課長工藤嗣巳 友樂里・風樂里支援課 課長橋本厚子 川東学園支援課 課長橋爪美和子 フレンズ・豆ちゃん支援課 課長菅野理恵 むぎわら・すたーと支援課 課長上坂和人	地域生活支援センターあさひ45 所長柴山小百合
総合相談支援センター 所長天羽仁	グループホーム支援課 課長串崎聰	フレンズ・豆ちゃん支援課 課長菅野理恵 むぎわら・すたーと支援課 課長上坂和人	地域生活支援センターあさひ45 所長柴山小百合

虐待防止研修会を終えて

きたみ学園 菅 早 紀

令和元年十一月三日に、川東の里虐待防止等研修会が、北見工業大学で行われ、川東の里職員、管内の福祉関係者等、約二〇〇名が参加しました。

今回の講師は、香川大学教授の坂井聰氏をお招きし、「障がいのある人とのコミュニケーション～分かるよう伝えること、分かるように伝えてもらうこと」と題し、講演を行って頂きました。

坂井先生から、「あなたに障害はありますか?」「障害とは何ですか?」と問われ、私自身普段何気なく分かっただつもりでいた「障害」について改めて考えると、なかなかこれと言った答えが思いつかずにいましたが、坂井先生からは、「障害は持つものから、経験するものに変わった。障害は、環境の側にあるので、職員が障害になってしまわないように気を付けなければならない。」と話しがあり、利用者が障害を持つ

ているわけではなく、職員の対応や支援方法によつては、利用者の「障害」になつてしまふことに注意しながら支援を行わなければいけないと感じました。

また、全体講演の後に行われた事例発表では、きたみ学園の児童の事例を取り上げて検討を行いましたが、利用者の良いところに目を向けることの大切さや、利用者に「ありがとう」と伝えることの大切さを改めて学ぶことができました。

最後に坂井先生からは、支援者にとって、やる気・愛情・技術の全てが必要であり、利用者の皆さんが必要で、いつか話しが出来るようになった時に、「生まれてきて良かった。」と言つてもらえるような支援をして下さいと話がされ、私自身も、目の前の利用者さんにとって、「障害」ではなく、気持ちに寄り添つて支援していくような職員になりたいと思います。



通所運動会を終えて

実行委員長 豆ちゃん 今川 隆太

昨年は、元号が平成から令和に変わり、初めての運動会でした。早いもので、通所部だけでの親子運動会も、昨年で5回目を迎え、昨年も熱戦を繰り広げました。先ずは、開会式からラジオ体操、皆さん怪我しないように準備万端!! 気合い十分です(^^)

1 競技目は、大玉転がし。紅組、白組ともに全力で頑張っていました。

2 競技目は、保護者の皆様による借り人競争、景品はむぎわら事業所で、丹精込めて作った野菜が当たりました。3 競技目は、玉入れ。紅も白も沢山入れることができました。

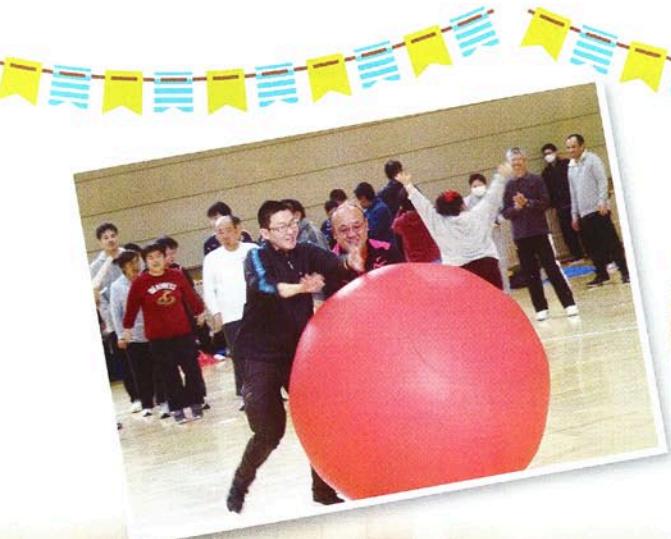
4 競技目は、ちょっととはいしゃく（借り人競争）。皆さんがよく知っている職員や小物がカードに書いてあり、一生懸命探してゴールしました。5 競技目は、坊ちゃん嬢ちゃん（幼児）。ご家族の中から、小さいお子さんが何人か参加してもらい、ゴール目掛けて走ってくれました。最終競技（6 競技目）は、おたま

リレー。おたまに、テニスボールを載せて、もう片手には、所属事業所のアピールになるように、各事業所で作成した旗を持って、チームメイト目掛けて走り切りました。

結果、昨年は紅組が優勝！惜しくも、白組は負けてしまいましたが準優勝。父母会からのお手伝い、職員の人も怪我なく無事終了することができました。

これから、雪が降り本格的にようになります。体調不良には、十分注意していただけたらと職員一同思います。

利用者の皆さんは、手洗い・うがいを欠かさず毎日して、風邪の予防しましょう。



作品展を終えて

友 樂 里 鈴 木 桃

過日、令和元年の十一月十三日から十七日、コミュニティプラザパラボの市民ギャラリーを会場に「友（共）に楽しむ作品展」と題した友楽里の作品展が行われました。

今回は友楽里エンジョイ班・園芸班の利用者さんが前回の作品展から

約二年弱の期間の間に生み出した絵画や手芸作品、切り紙、ねんど、動物の立体切り絵など約百二十点が展示されました。「ともに楽しむ」ことをテーマに利用者さんの描き上げた絵を素材にしてコマや変わり絵・パタパタ紙相撲や塗り絵といった昔ながらの玩具を用意し、見て・触れて・感じることで楽しさを共有できたらいいなあとという試みを行いました。

皆さんで見学に行くと、自分の絵が本当に（？）展示されているところを確認し、それぞれの方が嬉しそうな満足気な笑顔になつていました。自分の絵をまじまじと改めて見入っている方もいました。これからも美術創作を通してご本人が満足





成人・還暦 古希を迎えた皆さん



嬉しいよ～！
美味しいものを食べていっぱい長生きしたいです！



これからも元気に作業を頑張って、大好きなコーヒーを毎日飲みたいです。たまにお母さんに会いに行きたいです。



「これからも
仕事がんばる！」



仕事は忙しいが皿洗いや包丁仕事を楽しんでいる。買い物が好きです。これからも頑張る。



清掃作業を皆と協力して頑張ります。



就職に向けた活動を頑張りたい。
好きな女子を見つけています。



就職が決まった時は企業に貢献できるよう頑張りたいと思います。



成人した実感はまだありませんが、何事にも挫けず頑張っていきたいです。



元気に散歩をがんばります



笑顔で楽しく過ごします。



楽しく過ごして箱折りをがんばります。



これからも元気に
がんばります。



色々なことにチャレンジしていきたい。



元気に通所して散歩などの活動をがんばります。



活動内容：運動会で表彰状をつくつたり北見市のぼんち祭りで行われる千人踊りに希望者を募って参りました。コメント…「これから活動を皆と話し合って決めたいです」



園との年二回の合同交流会地域のごみ拾い毎月の利用者の会の司会コメント…会長頑張ります。



利用者の会紹介



皆様からの
たくさんの「厚情」
ありがとうございました。

川東の里 職員野球部再結成!!

約十年ぶりに、川東の里職員による野球部を再結成しました。部員総数は十九名での新たなスタートとなりました。フレッシュな若手や、一打席に懸けるペテラン勢も含めての門出となりますが、事業所の垣根を越えて、楽しく野球を行いたいと思います。チーム名は「川東の里BC（ベースボールクラブ）」です。ユニフォームも新調し、春からは朝野球の大会に出場して、沢山の珍プレーをお見せしますので、早起きの方はぜひグラウンドに応援に来てください。



特別顧問	マネージャー	選手	主将	H	C	監督															
島田	原田	池上	山崎	松本	中川	金子	稻部	若沢	福士	上坂	小栗	南	菅野	小林	森谷	山岸	後藤	澤田	政野	工藤	佐藤
英夫	有希	理湖	光敏	廣昭	文博	武士	幸太	勇樹	貴大	和人	優二	雅哉	泰弘	友浩	明弘	典生	和人	剛	豐	嗣巳	智謙
			63	51	49	38	23	22	20	19	18	17	13	11	5	3	1	0	10	29	30

編集後記

沢山の「注文をいただき誠にありがとう」がしまし
た。

の完売となつてしましました。完売後もお問い合わせは多くお断りする際にはとても心が痛みましたが、今年はこれまで以上に対策を練りお断りしないよう頑張りたいと思います。

「お歳暮を終えて」

皆様、新年あけましておめでと
うございます。
新しい元号「令和」になつて2
年目を迎え、いかがお過ごしてし
ょうか。
川東の里だよりも今年度最終号
で106号になり、利用されてい
る方々の様子などを皆さまにお伝
えしてまいりました。
これからも川東の里だよりを通
じて、楽しく笑顔があふれるよう
な話題を提供できるよう努めてま
ります。
本年も皆様の健康とご多幸を心
よりお祈りいたしますとともに、
変わらぬご理解とご協力の程、よ
ろしくお願ひ致します。

担当編集 澤田剛